

# 長畑ひろのり News vol. 183



## しでうなはて今昔⑩

### ・片町線と切符について

四條畷市史  
第六巻より



図179 忍ヶ丘駅の開設  
昭和28年5月1日 個人提供

181、182号と昔の忍ヶ丘駅と四條畷駅の駅舎について書きました。今号は片町線（学研都市線は愛称で、正式路線名は現在も片町線）の歴史を簡単に紹介します。



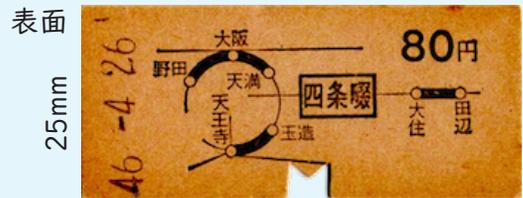
以前の切符は、硬券と呼ばれ厚紙でできていました。ホームへは、その切符を改札口で駅員さんに渡し、改札鉄（改札パンチ）と呼ばれるもので切り込みを入れてもらわないと入ることが出来ませんでした。



改札鉄

表面のデザインも、行き先の書いた両矢式や下記画像の路線図が入った地図式のものなど、何種類かありました。

57.5mm

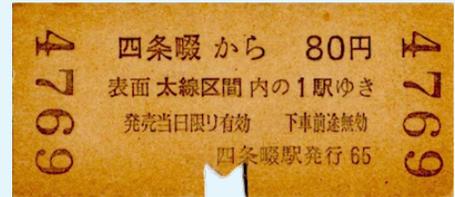


表面  
25mm

改札鉄での切り込み↑

ほぼ実物大の地図式切符

裏面



1971（昭和46）年4月26日発行

硬券も、JRにおいては、自動改札機や収入を管理するPOS端末等の導入で、記念切符以外では手にする機会がなくなりました。また、ICカードやスマートホンの普及により、切符すら手にしたことがない方もおられるかも知れません。ちなみに、忍ヶ丘駅では2003（平成15）年11月1日より、ICOCAの利用が可能となりました。

私が学生の頃、古い電車が走っているイメージしかなかった片町線も、関西において最初に電車が走ったり自動改札機が設置されたりと、調べれば他の先駆けとなる線区でした。仮に、国有化されず私鉄（関西鉄道）のままであれば、善し悪しはともかく本市の発展も随分違っていただようと思います。

#### 四條畷市に關係する片町線の主な年表

- 1895（明治28）年08月、浪速鉄道により全線単線で片町駅－四條畷駅間が開業
- 1897（明治30）年02月、関西鉄道が浪速鉄道買収
- 1898（明治31）年04月、長尾駅まで延伸開業
- 1898（明治31）年09月、木津駅まで延伸開業
- 1907（明治40）年10月、関西鉄道が国有化
- 1932（昭和07）年12月、片町駅－四條畷駅間が電化  
※ 電化は関西の国鉄初
- 1950（昭和25）年12月、四條畷駅－長尾駅間が電化
- 1953（昭和28）年05月、忍ヶ丘駅開業
- 1979（昭和54）年10月、四條畷駅－長尾駅間複線化  
片町駅－長尾駅間の各駅に自動改札機設置  
※ 自動改札機設置は関西の国鉄初で、  
新線を除けば在来線での採用は国鉄初
- 1987（昭和62）年04月、国鉄が分割民営化  
国鉄から西日本旅客鉄道（JR西日本）へ
- 1988（昭和63）年03月、学研都市線の愛称を使用  
快速列車が運用開始
- 1997（平成09）年03月、東西線開業、片町駅廃止
- 1999（平成11）年05月、区間快速が運転開始
- 2002（平成14）年12月、女性専用車を本格導入
- 2003（平成15）年10月、コンコースの喫煙所を廃止
- 2009（平成21）年07月、ホーム上の喫煙所を廃止  
※ 全面禁煙化となる
- 2019（平成31）年03月、おおさか東線が開業

文章は、弱視の方にも読みやすい可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

長畑ひろのり事務所 Fax 050-3173-0081  
e-mail sky@nagahata.jp

公式サイト（4コマ漫画も掲載中）

<http://nagahata.jp>



日々の主な活動



政治以外の話題



# 2月定例議会における代表質問

2月26日に行われた2月定例議会初日に、市長から令和6年度の市政運営方針が発表されました。それを受け3月7日に代表質問が行われ、私は所属する会派の幹事長として、市長に直接14項目の質問をしました。その中から2項目を報告します。

## ・新池の都市公園化について

【長畑質問】岡山地区にある新池の都市公園化は必ず実施しなければならないと思うが、市長の考えは。

【市長答弁】新池が存在する西部地域の北西エリアに都市公園がないことは認識しており、都市公園となり得る公共空地も所有していない状況で、新池については、都市公園として整備でき得る有力な選択肢の一つとして認識している。

しかし、所有が本市、維持管理運営が水利組合となっていることから、都市公園化については本市独自で判断するものではなく、水利組合との協議が整ったうえで初めて検討できるものと考えている。そのため、これまでも協議を重ねてきたが、引き続き理解が得られるよう協議を継続していく。

【長畑質問】市長は今回の市政運営方針で「良好な住環境の形成には、身近に豊かな自然を感じさせる環境整備が欠かせない」と述べながら、当初答弁においては熱い思いを感じる事ができなかった。

改めて伺う。市長は新池を都市公園にしたいのか。  
【市長答弁】農業従事者や受益面積の減少に加え、高齢化や後継者不足による維持管理の負担の増加といった水利組合へのヒアリング結果を踏まえると、本市所有の新池を他の公共施設として活用することは、課題解決に繋がるものと考えている。

また、当該地域に公園施設が少ないことや一定の面積を有した公共空地がないこと、子育て環境の充実を図るために西部地域において公園の拠点整備を進めていくこと、何より、地域との対話会や市長への意見箱等を通じた市民の声が多数あることなど、これらを総合的に判断しても、新池を都市公園として整備することは、現時点における最善手であると認識している。

【長畑要望】市長のこれまでの動きからすれば、この件はあまりにも動きが遅いので、もしかするとは思っていたが、当該地域に都市公園は必須との内容に安心した。そこまで認識しているのなら、少しでも早く実現するよう努力して頂くことを要望する。

## ・南中跡地の外周道路について

【長畑質問】防災機能、地域コミュニティ機能を兼ね備えた多機能型体育館の整備、ボール遊びができる公園整備など、跡地の一体的な整備に係る基本計画策定業務に着手するとのことだが、防災機能を考えた時、四條畷南中学校跡地の外周道路の拡幅が重要なのは明らか。そこで、外周道路の拡幅は間違いなく行なうのか。

【市長答弁】外周道路については、跡地の一体的な整備を検討していく基本計画を策定する際、外周道路の課題を整理することから、その整理した内容を踏まえて検討する。



GoogleMapより

【長畑要望】外周道路の課題を整理し検討していくとのこと、承知すると同時に安心した。

四條畷南中学校跡地は、外周道路拡幅のために敷地を多少削ったところで、多機能型体育館やボール遊びができる公園整備に影響はない。それどころか、多機能型体育館には防災機能を備えるのが決まっており、その外周道路の幅員が現状のままとなれば、大規模な災害時に道路の利用はできるのかと考えた時、心許ないのは明らか。

また、四條畷小学校や四條畷中学校への通学路としての利用も考えれば、外周道路は全て歩道付きにして欲しい。

以上、基本計画策定時には、外周道路の課題解決、つまり、道路幅員の拡幅を必ず取り入れて頂くことを要望する。

### ひろのり物語 (港区編 ③)

絵:長畑ひろのり

